花の台ホールだより

2022.11.19
NO.7(486)
花の台ホール指導員 発行

おまつり前は、毎日の天気予報に一喜一憂していましたが、当日はちょうど良い天気に恵まれ、本当にたくさんのお客さんが来てくれて大盛況となりました。

3年ぶりの開催となり1~3年生は初めてのこどもまつり、楽しみの一方であれこれ不安もありましたが、みんなよくがんばったと思います。子どもたちは1時間の店番でしたがとぎれることのないお客さんの列にお茶を飲む間もないくらい忙しく、低学年の子どもたちには大変な1時間だったと思います。最後の方くたびれたり集中が切れたりする子もいましたが、班長や上級生がよくフォローしていました。

現役の子ども、父母、指導員ががんばったのはもちろんですが、OBOGの子どもたちや父母たちも、朝早くからたくさん参加してくれて、よく動き花の台のおまつりを支えてくれました。感謝感謝です。老いも若きも(?)花の台総出でおまつりの成功にむけてひとつになった、という一体感を実感することができました。「さすが花の台!」「やっぱりまつりは楽しい!」「みんなよくがんばったよね!!」とお互いそれぞれのがんばりを讃えあいましょう。

地域の方たちにも花の台の存在を知ってもらえるいい機会になったと思います。

実行委員さんはじめ、父母の皆さん、おつかれ様でした。　ありがとうございました。

ぷらばん

子どもまつり開始から、発電機が動かず、パニックになりそうでしたが、
平賀（父）がＯＢの宮崎さん宅でプラバンを焼くことにして下さり、みんなで頑張りプラバン 152 枚売れました。良かったです。

☆前半はスタートからお客さんが沢山並び、受付のりなちゃんは、出来上がり、下書き、これから書くプラバンの３種類があり、大変でしたが頑張ってました。いっちゃんは教えてあげて、テーブルの周りの整理をしてくれました。ひろきくんはスタンプを押してくれました。

☆後半はお客さんが多くて、受付のあかり(ハト)ちゃんも最後まで、プラバンを売ってくれて、出来上がりを渡していた。ゆきのちゃんは教えたり、プラバンのひもを通してくれて、テーブルの片付けをしてくれました。さきちゃんはプラバンのひも結びがとても上手に出来ました。のぞむくんはスタンプ押しが多くて大変だったそうです。

☆プラバンを焼くかかりのこう君、くるみちゃん、じん君、さなちゃんは宮崎さんの自宅で作業をしてくれました。仲間がいない中で、宮崎さんのご家族に助けていただき、プラバンを焼くことが出来ました。

☆各係の仕事は深井さん、平田（母）平賀（父）加藤（父）沢山の父母の協力でやりきることが出来ました。ありがとうございました。　（ 菅原 ）（深井）

おみせ（プラバン　）や　前半 後半　グループ名（いくら　）

なまえ	かかりのしごと	じぶんでがんばったこと	はんちょうさんからみたかんそう	
			こう(リハーサル)	りな
りな	うけつけ	私は、こんでるときに、できるだけはやくやれるようにがんばりました。	がんばっていた。	
こう	やく	ぼくはやくた頂だからうまくたんたんとけしょうがたくさんあったからうらがんだ。		
いっちゃん	みんなにおしえる	私は、みんなにおしえてがんばったりゆうは、一人だからたいへんだったから。	おしえるのをがんばっていた。	せっきょく的におしえていて、1人でいろんな人におしえていた
くるみ	本ではさむ	わたしは、はさむのをがんばりました。りゅうは、力をつかうから。	はじめてなのにうまく本のありだにはさんできれいにできていた。	
ひろき	スタンプ	スタンプがんばった	したえをあつめていた。	スタンプをがんばっておしていた

おみせ（プラバン　）や　前半 後半　グループ名（えび　）

なまえ	かかりのしごと	じぶんでがんばったこと	はんちょうさんからみたかんそう	
			あかり	じん
あかり	うけつけ	私はうけつけの係をやってめちゃくちゃたいへんでした。なにがたいへんかというと、プラバンのお店はほかのお店より人気だったので、たいへんだったけど自分もたのしかったです。		
じん	やく	手ぎわよくしっぱいしないようていねいにがんばった。		
さな	やく	たくさんやくこともあったりひまなこともあってたいへんなこともあったけどたのしかったです!!		やくとき すいすいやいてくれたからたいりょくをつかいすぎなくてよかった
ゆきの	教える	教えることもあったし、ときどきさとをとおしたり、やかれて、ヒモがとおっているやつを、ならべたりして大へんでした。	テーブルのかたづけを上手にしていました。最後の方はできあがったプラバンをうけつけに持ってきてくれました。	
さき	ひも	たくさんひもをとうしてあたまがいたくなったりしました。	ゆきのちゃんと同じ教える係をやっていました。ひもを一生けんめいにとおしていました。	
のぞむ	スタンプ	人がおおくてたいへんだった。	のぞむくんはわたしうけつけをやっているときできてくれた人にスタンプをおすかかりを一生けん命にやってました。	

※プラバン屋さんは、係の仕事場が、公園と宮崎家に分かれたので、なかなか班員の様子をみられませんでした。

もぐらたたき

～シャッフルトランプ～

前半後半合わせて136人ものお客さんが遊びに来てくれました。

人数で比べられるものでもないのですが、子どもたちは途切れることのないお客さんを相手に、休むことなくずーっとがんばってくれました。ありがとう！

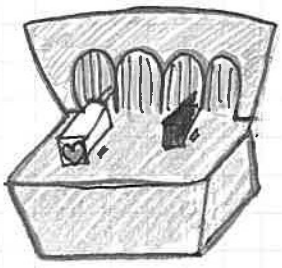
受付で名前や年齢を聞く、的を手動でひたすら出す、ルールを説明してストップウォッチで時間を計る、点数を数える…といった係を交代しながら、どれも一生懸命にやってくれました。

今年の目玉でもある、"ジョーカーを叩いたら0点になる"というルールで、お客さんもハラハラしながら遊んでくれていて楽しそうでした！

反省としては、「ジョーカーの的を出し過ぎていた」、「お客さんの年齢によってスピードを変えるのだけど、受付が的を出す係に伝え忘れたので困った」、「盛り上げる声かけができなかった」…などありましたが、このメンバーのうち何人かが、また来年ももぐらたたきのお店担当になってくれたら、ぜひよりよい"もぐらたたき"を目指してがんばってもらいたいな、と思います！

お手伝いしてくれた高母、OG既話母、本当にありがとうございました。

また、お父さん、お母さんたちも、子どもの様子を見に来てくれて、応援をしてくれて、本当にありがとうございました。



担当カップ☺

おみせ（シャッフルトランプ（もぐらたたき））や　前半 後半　グループ名（ハンバーグ）

なまえ	かかりのしごと	じぶんでがんばったこと	はんちょうさんからみたかんそう	
			かんすけ	ゆうか
かんすけ	うけつけ	名前をかいたカードをきた人順になかべにちがう人の所にでへんをかかないようにした。		説明の時に使う紙を小さすぎだったら高さをひくくするなど考えていた。点数を言う時に大きい声でいえていた。
ゆうか	ルール、ストップウォッチ	身長や、年齢に合わせてルールが書いてある紙の高さを調せつしたり、声の大きさなどを考えた。	小さい子がきたとき、身長にあわせてかみのいちをかえていた。	
はる	うけつけ	人に名前を聞くときに大きな声でていねいな字でかけた。	学年に合わせておすスピードをかえていた。	学年に合わせてトランプの出すスピードを考えて出せていたし、点数も受付にとどくような声で言えていた。
なおき	うけつけ	人に名前を聞くときはずかしがらずにできた。	大きな声で、ルールでないでスタートだとをいえていた。	受付でほかのんとはちがくちゃんと学年、年を聞いていてがをしっかり出す係に伝えてくれていたのですごくいいと思う。
つむぎ	だす	ちいさいこがきたそのおとおおきいこがきたときちいさいこのくさかいまだあったから沢っくりすきた。	むずかしい点数を、まちがえずかぞえれた。	はじめてのまどもまっりなのにすごくしっかりできた。具体的にルール説明も練習よりも大きい声でハキハキ言えていた。

おみせ（もぐらたたき（シャッフルトランプ））や　前半 後半　グループ名（牛カルビ）

なまえ	かかりのしごと	じぶんでがんばったこと	はんちょうさんからみたかんそう	
			なほ	㊙そう
なほ	だす	まと（もぐら）を出すときに、年令によって速さを変えたり、おくまで出してたたきやすいようにしたり、小さい子には早いまとをあまりださないように工夫をした。		白を多めで里あい小さい子に小くして大きい人には多めにしてた。
㊙そう	点数	お客さんから点たたいたらまとわたれずに0点から計算できた。	大人や小らなど、大きい人にははやく、小さい子にはゆっくり出したり、人によってはやさを変えていた。	
かな	だす	まとを出すときに、小さい子には黒を少なめに出したり、工夫をしていた。	まとを出すときに、小さい子には黒を少なめに出したり、工夫をしていた。	さいしょは1.2回ぐらいをこうげんすこし多めにだして工夫してた。
はるき	うけつけ	名前を大きい聞にどをがんばった。	ストップウォッチのときに、大きな声で、「5、4、3、2、1、おわり」と言ってたのでわかりやすかった。	きれいな字でも書いていて、わかりやすかた。
ことね	ルールじかん	ルール、すたーとおわり、をゆうのをおおきいこえでがんばった。	ルール説明のときに大きな声でハキハキとゆっくりしゃべっていたから聞こえやすいし、わかりやすかった。	きこえる声でルール説明していてた。

PROJECT PAPER

フィッシングGO!

朝早くから集まって来てくれた子供たちとお店の準備をしました。
5年生の班長さんふたりが最後まで頑張って作ってくれた看板をかけ、池の塀もはり巡らせ魚も泳がせ、釣り竿もかごも並べ、景品とスタンプも置き、ストップウォッチにルール表、消毒薬もスタンバイオッケイ!!
「お客さんが来てくれるかな？」とドキドキしながら始まった“こどもまつり2022”でしたが、気が付けば長い行列ができていました。お客様一人ずつやっていた釣りを二人ずつに変更し最後の頃は三人ずつにして沢山の人に楽しんでもらいました。
ルール係は数人集めて説明をし、釣り竿係も二人、三人に急ぎながらも丁寧に竿を渡し、魚係もモールを釣りやすいように直しながら急いで並べ、景品スタンプ係もお客様を待たせないように心を使い、ストップウォッチ係はよく合図が聞こえるように声の大きさを考えてくれました。それぞれの係の人がその場に合わせたやり方で、見事な仕事をしてくれました。1時間という長い時間を頑張りぬいてくれた仲間を誇りに思います。係のみなさんありがとう！お疲れさまでした。
149人のお客様がいらしてくださり、高校生の女子が1分間に9ひき釣り上げました。
当日、都合で来れなかったあおいさんが景品用に教えてくれた
折り紙のイカやかわいい魚たちはお客様に大好評でした。ありがとう！
お店のお手伝いをして下さった樋口ママ、ありがとうございました。
みんなの力が合わさってフィッシングGO！は大成功でした。　担当　桜井

おみせ（フィッシングGO）や　前半　後半　グループ名（マグロ到王）

なまえ	かかりのしごと	じぶんでがんばったこと	はんちょうさんからみたかんそう	
			高橋	火田心 あおい
ひかり	けいひんスタンプ	スタンプかえたりけいひんかえたりしたところ	大じに来ていたけどスタンプやけいひんをちゃんとわたせていた。	おりがみのおり方をすぐに覚えてくれた。
佳菱	タイマー	1分をすぎないように気をつけました。	スタートの声やおわりの声がここまで聞こえているくらい声が大きかった。	お客さんにもじゅんびができているか聞いていていいと思った。
敦	つりざお	つりざおのもつところからわたす。	心配だったけど色々な人にちゃんとつりざおをわたせていた。	お客さんにあわせてつりざおをわたしていた。
あおい	魚ならべ	お客を待たせないように、魚をおいた。	準備のとき景品の魚のおり紙のおり方をみんなにおしえていた。	
佳菱	ルール説明	アルコール消毒をわすれないようにはをはげました。		さくを作っていた。

おみせ（フィッシングGO）や　前半　後半　グループ名（あなご到王）

なまえ	かかりのしごと	じぶんでがんばったこと	はんちょうさんからみたかんそう	
			河上あかり	柿井優斗
しづく	プラけいひんスタンプ	スタンプでそれぞれのひとのかおをみてスタンプをえらんでいました。けいひんをおとどけしました。	けいひんを女子と男子でわけたり工夫して活動していた。	多くの人が来てもちゃんとスタンプをえらべてけいひんをわたしていたがんばっていたと思います。
はる	つりざお	つりざおのひもをまくのをがんばりました。	人数がめちゃくちゃ多くなってまくのが大変そうだったけどがんばっていた。	書いているとうりつりざおのひもをまくのをがんばっていました。
優斗	魚ならべ	つる所のモールを上にするのを意識してがんばりました。	うった魚をかいしめするときにカゴにいれる時に1ひき20こかかぞえていてよかった。	
しおり	タイマー	なるべくタイマーをもうかんぺきにしたりで終わりまでもたもたしないようにがんばりました。	用意はいいですかと聞いてからやっていた。私がこうたいの時間に交代していなかった時に教えてくれてありがとうございました。	小さい子がよーいドンと言う前に始めたりしていてタイマーをよくした。そのでしょう数がふえてきた。
あかり	ルール説明	1回説明した人にも説明聞きましたか？と聞いたかんばんのあけどがんばった。		人数がふえたら5人に1人かわり、なにせつめいしてた。よかったと思います。

スターバトル

担当（田中）

当日は幼児さんから大人まで約120人のお客さんが来てくれてスターバトルを楽しんでくれました。

前半5人 後半3人での店番となりましたが、20分ごとに係の仕事を交代しながら、来たお客さんの年齢や力に合わせて、的までのキョリを変えたり、UFOの大きさを変えたりして臨機応変に対応できたのがすばらしかったです。又、お客さんの一投一投に、「すごい！」「あと○こ！」「あぁ～おしい！」など声をかけ盛り上げました。

- 小さい子には、的が倒れなくても的に当ったら、倒してあげたのが良かった
- 小さい子には大きいUFOを多く入れてあげたのが良かった
- 景品をたくさん作っておいてよかった。思った以上にお客さんが来た
- パーフェクトをとった子がすごく喜んでいてたのしかった！と言っていた。
- お客さんがすごく並んでくれていた。
- 小さい子にやりやすいようにして良かった！

子どもの人数が少ない上に、田中がスーパーボールすくいの方へ行っていることも多かったので、岸村母、0才のかりんちゃんには全面的にフォローしてもらいました。ありがとうございました。

おみせ（スターバトル）や 前半 後半 グループ名（たまご）

なまえ	かかりのこと	じぶんでがんばったこと	はんちょうさんからみたかんそう ○そう	ここ
○そう	全部	小さい子にも分かるようにしゃがんでゆっくり読んだ		お客さんが来たらもりあげてあげたりけいちゃんといっしょにかかりをしていた。
ここ	全部	がんばって声を出してお客さんにしょうひんをあげたりできた。	エイリアンを年にあわせて近くしたり遠くしたりしていた。	
ななこ	全部	けい品作るのをがんばった。ちいさい子にはエイリアンを前にだしたり取るのをがんばった。	いつもおれにきょうだったのに店番のときは真面目に一生懸命してた。	けいちゃんといっしょにユーリアンなどをならべてくれたりしていた。
ありさ	全部	声を出してスタンプをおしたり、けいくんをあげた。	けいひんをわたすときやスタンプをおすときにお客さんにやさしくせっしていた。	小さい子はUFOがエイリアンに、あたったらたおしてくれたりがんばっていた。
けいた	全部	「スターバトルスタート！」と言うのをがんばった。	おれといっしょにやったとき指示したらすぐにやったのですごいと思った。	店番のときにけいちゃんがいろんなかかりをがんばっていました。

おみせ（スターバトル）や 前半 後半 グループ名（サーモン）

なまえ	かかりのこと	じぶんでがんばったこと	はんちょうさんからみたかんそう しょうたろう	ひより
しょうたろう	全部	とくにスタンプおしとけいひんわたしのときにがんばった。		ちいさい子には的があたっただけでたおしてあげていた。
ひより	全部	「スタート」の時に「がんばってね」などこえをかけてあげたえんぴつをとうろうをがんばった。	一番声を出しておうえんしてくれていて助かった。	
ゆずは	準備	ほしを書くのをがんばった。うちわ人を書くのがおもしろかった。	準備中にほしをかくのをすごくがんばっていた。	つかれてるときもあったけどエイリアンやほしをたくさんつくってくれた。
そうき	準備	的をならべてからえんぴつをとるのをがんばった（リハーサル）	そうきは、一番しんけんにじゅんびしていた。	リハーサルの時にお客さんになすごーい」などこえをかけてた。
かず	全部	小さい子がなげた的をドーンてせた。悪かったところは客にせんせんおうえんなかった。	かずは、小さい子のことをかんがえてたおしてあげてた。	エイリアンの絵かいおもしろくてお客さんもわらってた。

班長さんたちのクラッカーで開会宣言

プラバン

もぐらたたき
シャッフルトランプ

さかなつり フィッシングGO

スターバトル

スーパーボールすくい

バザー

ほいくにっしより

10月21日　こどもまつりの班ごとの反省会　終わり、みんなで駄菓子パーティをした時に、各班長さんより感想を一言 言ってもらいました。

かっつーより はじめのあいさつ

子どもたち、父母、OBOG、OBOGの父母のみんなの協力のもと、3年ぶりのおまつりが大成功でした。 みんなも卒室してもまつりの時は手伝に来てほしいです。

〈プラバン屋〉

りな　〃　班王で協力して楽しいこどもまつりになった。自分の仕事をやって班のみんなと連系できた

こう　〃　発電機がこわれて、あおきの家でプラバンを焼きました。

じん　〃　あおきの家でプラバンを焼いていたので班の様子も見れなかったけどちゃんとできて良かった

小あかり　〃　班長として初めてのこどもまつりでプラバン屋も初めてだったけどちゃんとできた。
（後日ききました）　座る間もないくらい忙しかった。

〈もぐらたたき〉

かんすけ〃　1〜3年にとっては、はじめてのまつり、がんばってて良かった。

ゆうか　〃　1〜3年にははじめてだったけど、練習より本番にうまくできてよかった。

なほ　〃　班の1人1人が努力して協力してお客さんがたくさん来てよかった。

小そう　〃　たまには班で協力してやれてよかった

〈さかなつり〉

けいと　〃　1年生が心配だったけどがんばっていてよかった。

小あかり　〃　3年ぶりで経験している人が少なかったけどみんなが協力してお客さんがたくさん来てくれてよかった。

ゆうと　〃　3年ぶりで慣れてなかったけど、みんな楽しくできてよかった。

あおい　〃　当日行けなくて悲しかったけど来年は絶対がんばりたい。
（後日ききました）

〈スターバトル〉

しょうたろう〃　かずまさは初めてだったけど接客をがんばっていた。
ゆずほとそうきは準備の段階でがんばっていた

ひより　〃　当日は班のメンバー3人で協力してお店を盛り上げて楽しくできた。

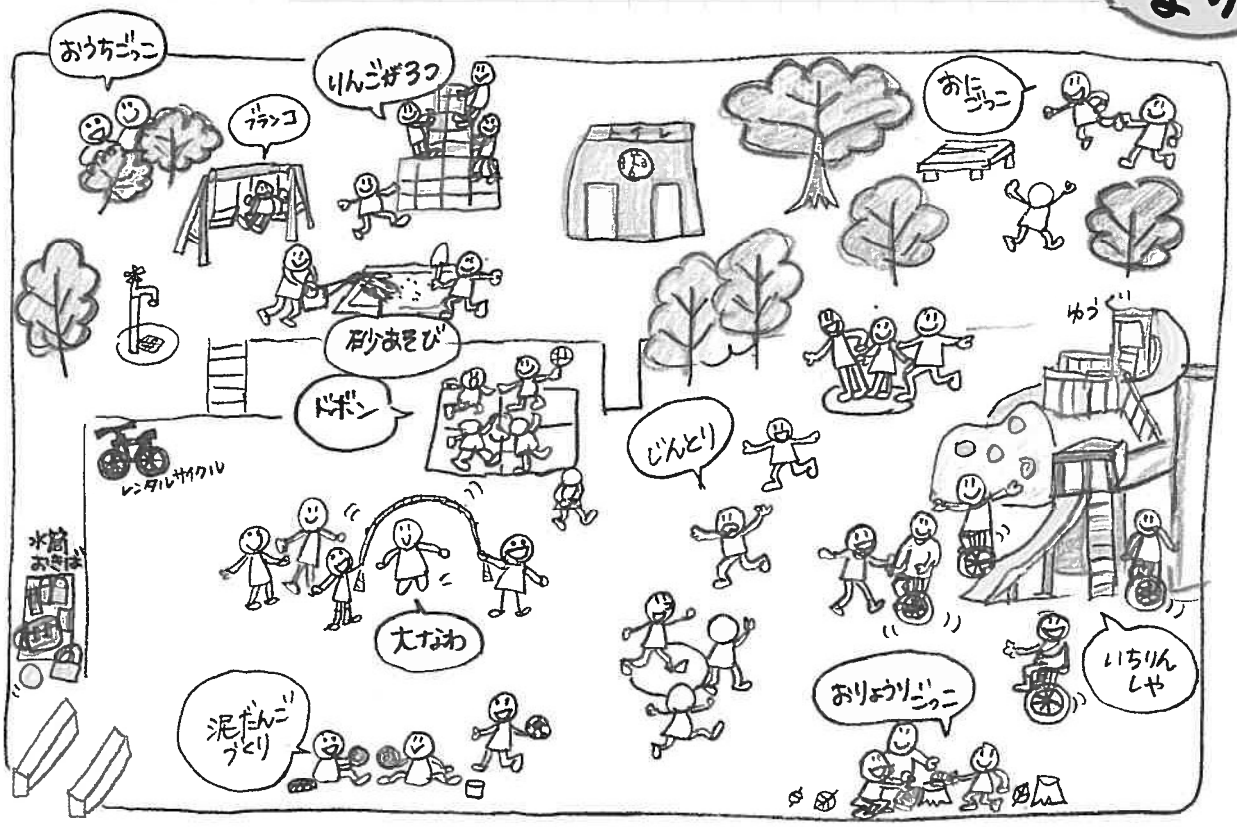
小そう　〃　3年ぶりで自分も緊張したが120人くらい来てくれてうれしかった。

小ここ　〃　1年生はさいご疲れてたけど練習の時より、1・2年ががんばっていた。

こどもまつりが終わって、秋晴れの気持ちのいい日は、できるだけ公園に行ってあそんでほしいなぁと思っています。
外へ行くと、じんとり、ドッジボール、おにごっこ、一輪車など思い切り体を動かすことができます。
つつじの植えこみの間でお家を作ったり葉っぱやどんぐりでレストランごっこをしたり、生き物や風、夕日など自然を感じることができます。
部屋にいるだけでは経験できないことを五感を使ってたくさん感じてほしいと思います。

ほいくにっしより

11月9日（水）　つつじ公園にて



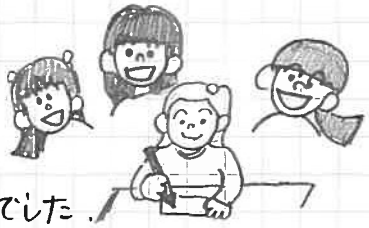
この日は、2校とも4時間の子が多く秋晴れのいい天気の中、2時間たっぷりあそびました。
公園はたくさんの子どもたちでにぎわっていて、学校の友だちとあそぶ子、一輪車で技をみがく子、ひたすら泥だんごを作る子、砂場で川を作ってあそぶ子、ドボンや大なわとび、おにごっこや陣とりであそぶ子、遊具であそぶ子、様々でした。
公園に着いてすぐ何かやりたいあそびをやる子もいれば、1時間近くおしゃべりを楽しんでから満足して、「じゃ何かやるか」と動き出す子、楽しそうなあそびがあると「入れて！」とあちこち顔を出す子、仲良しの友だちとずっと一緒にいるのが楽しくて安心な子、とあそびの楽しみ方も様々です。
ふだんだと、何かやろうよ～と声をかける子がいてもなかなかまとまらず、やっとあそびが盛り上ってきたころ、ホールへ帰らないといけない時間になる、ということが多々ありますが、今日はたっぷりあそべて良かったです。

今は日暮れが早いので、おやつ後には公園へ行く時間がとれません。
先に遊ぶ時間をとって、4時45分ごろからおやつとなっていますのでご了承下さい。

11月10日(木)

修学旅行から帰ってきて3日ぶりに登室していた寛亮くんを
みつけた望くん。
パッと表情が明るくなり、すごくうれしそうに「おかえり！」と言う。
寛亮くんに3日ぶりに会えたことがそんなにうれしかったのかな
と思っていると、次の言葉が「どんな電車でしたか?!」でした。
(そっちか～!!)

コマ入れの袋を仕上げて、アイロンシールに名前を書いている柚帆ちゃんの文字を見て、
くるみちゃん「ゆずほちゃん うまくない?!」
いっちゃん「えっ うま!!」
ゆうかちゃん「めっちゃ文字きれいじゃん!!」
次々ほめてくれる上級生に ちょっとうれしそうな柚帆ちゃんでした。



こまを入れる
袋を
作りました

西有馬小
開校記念日
11.2

のんびり
すごす

ほいく
にっし
より

Sケン

ハレブタ

つづ こうえんにて

バック練習中！

どんぐりをつぶして水でしぼって
アーモンドミルクっぽい どんぐりミルクを作りました
そのうち市場に出てくるかも?!

陣とり

ドボン

スーパーボールすくい
OBOGの子どもたち担当

大学1年生のはなちゃん、みさきちゃん
まさきくん ひなたくんを中心に32人ほどの
OBOGたちが(小6～社会人まで)
手伝いに来てくれました。
1時間ごとに3つのグループに分かれて交代で店番をしてくれたのですが、予想をはるかに超える428回分のお客さんが来てくれて、実行委員さんが用意していたポイでは足りず、お金・接客ポイ紙はりとみんなフル回転でした。ビニールプールの空気入れから始まり、お金の計算、後片付けまで本当に大変だったと思いますが、みんなよく動いてくれました。久々に会う子たちも多く学童にいたころをなつかしく思い出しながらおしゃべりにも花が咲いていました。
また来年もよろしくおねがいします!!

ささきさんの手作りやさん

父母の方からの寄付の布も含め、佐々木さんがレッスンバッグや給食ナフキン入れなどの布の手作り品をたくさん作ってくれました。今年はOGニゆきちゃんのお母さんも手作り品を提供してくれました。お二人のご厚意により売上げは全てこどもたちに還元させていただいています。

バザー後花の台ホールでも販売させていただきました。ご購入いただいた方ありがとうございました。

2022 全国学童保育研究集会　分科会報告　岡山 木村

第2分科会『子どもの遊び・仕事・学び』　鈴木陽司（千葉大学 教授）

- 子どもは2つの側面で育つ.
  1. 知識や技能を身につけて、学力を育む.
  2. 生活の中で、生きて働く知恵を学びとる.

- 子ども観の転換
  子どもは何も知らない幼い存在 ＝ だから、大人が教えてあげなくてはならない.
  ⇩
  生活する中で、いろいろ学んでいる豊かな存在 ＝ 生活学びと知的な学びを往復させて豊かに成長する.

- 子どもの生活にはやらないといけないことが入っている
  できて当たり前じゃない. できることはすごいことだという認識を大人が持つ必要がある.

- 生活の文脈が大事.
  文脈（一連の流れ）として作業を把握していく. 一つ一つの作業をバラバラに切り離して行っているわけではない.
  ※例. 外ばきを脱いだら → 下駄箱に入れる → かかとをそろえて入れる
  高学年になれば、これに「意味」を見出し、自分でどうすればいいのかを自分で考えて行動できるようになる.
  ⇒ 子どもの生活をしっかりつくりあげるためには、作業に意味と関連をもたせる「文脈性」が必要.

- 子どもの遊びや学びは生活を基盤にしている.
  子どもは生活実感と併せて、遊び・学びます.
  これがバラバラ離れてしまうと、学びではなく「勉強」になったり、遊びでなく「ヤラセ」になってしまう.

- 子どもが求める生活と遊び
  遊びが必要なことは、子どもに自覚されていない. 気がついたら自然に遊んでいる.
  しかし、この自然が最近では崩れてきている.
  遊ぶ時間がない. 遊ぶ仲間がいない. 遊び方を知らない.
  ついつい、ゲームや与えられたものに依存してしまう.

  ⇒ 子どもには、生活とつながった遊びが必要.
  放課後、仲間がいて、場所や時間があって、構ってくれる大人がいる、安心できる場所
  それが学童保育.
  ⇒ 学童保育は子どもの遊びと生活をつなげる大切な場所

学童保育は、子どもを中心に、父母と父母がつながる場所でもあります。
子どもの成長や悩みを共有し、キャンプやこどもまつりを共に楽しみ、父母にとっても、安心できる場所＝学童保育であってほしいと思います。
全国研は、日々忘れがちな、そういう気付きや学びを与えてくれる場でもあります。この全国研を共に学び合えた、岩村父、楠井母、嬉しかったです。ありがとうございました！　かっつー